

# 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年2月2日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2874001619		
法人名	医療法人社団 だいたう循環器クリニック		
事業所名	グループホーム花みずき		
所在地	姫路市豊富町豊富915-2 (電話) 079-264-8855		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-18		
訪問調査日	平成20年12月4日	評価確定日	平成21年2月2日

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、姫路市街から車で15分ほどのところに位置しており、田畑に囲まれ、ピンクの建物で何処からでも探しやすい。理事長がかかりつけ医でもあり、医師と看護師が毎週ホームを来訪し、利用者の身体状況を把握している。職員からいつでも連絡が取れる体制であり、利用者の安心につながっている。利用者は個性豊かに過ごしている様子であり、職員は在籍の長い方が多く、利用者と共に支えあう落ち着いた雰囲気がある。管理者も職員も前向きな姿勢で課題改善に取り組みされており、地域との連携、災害対策などをさらに努められ、サービスの質の向上を期待したい。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)	課題の改善すべてに取り組むことは難しいので、3ユニットで話し合い、できるところから改善に取り組んでいる。地域との連携、災害対策も消防団から意見を聞き、話し合い、連携ができつつある。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)	第三者評価を行うことにより、外部から違った角度からの意見が聞けるので参考にしている。自己評価については、毎年違う職員が記載し、全員が関わられるよう配慮し、視点の統一に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)	運営推進会議は、年4回開催している。運営推進会議のメンバーは、今年度は地域の方に幅広く参加してもらい、災害対策の改善として消防団は豊富町、大尾の2箇所に声かけして構成している。行政関係者は地域包括支援センター職員の参加もみられるが、市職員への呼びかけがなされていないので、呼びかけを行うことが望まれる。また、運営推進会議は、概ね2ヵ月に1回以上開催することと定められており、回数を重ねることでより外部の意見を取り入れ、サービスの質の向上につなげていくことが望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)	家族には、面接時や担当職員から月1回個人の状況、ケアの方針についてお便りで報告している。意見、苦情がある場合は速やかに職員が対応しているが、あまり苦情などは出されていないので、年1回3ユニット全体で行っている家族会議を、ユニット毎に開催する取り組みを計画している。苦情や意見を言い出しやすい雰囲気を作り出すことによって、さらなるサービスの質の向上につなげていくことが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)	自治会の会員に全利用者が加入している。ホームの駐車場を地域の秋祭りの屋台の休憩所となるよう青年団に働きかけて実現し、今年は屋台やシデに触ったり、地域の人と楽しい交流を行った。小学校から運動会の招待、盆踊り、地域の公民館のふれあいコンサートにも招待されている。地域との連携ができる体制が整ってきている。

## 【情報提供票より】(平成20年11月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年11月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤 22人, 非常勤 0人, 常勤換算 21人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	39,500 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 250,000円 ) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要(11月10日現在)

利用者人数	27 名	男性 2 名	女性 25 名
要介護1	9 名	要介護2	8 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.44 歳	最低 68 歳	最高 95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	だいたう循環器クリニック 姫路北病院 中山歯科
---------	-------------------------

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の第5項目に、「私たちは、高齢者と地域との関わりを大切にし、地域の福祉に貢献します。(地域のよりどころとして)」が掲げられ、開設時から地域を念頭においた理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、2階のフロアの皆が見やすい場所に貼り出されている。月1回の勉強会では、理念に沿った課題を多くし、それらについて職員同士で話し合いが持たれている。今年度は「その人らしい暮らしを続けられるように支援をする」という理念の基本に基づいた支援に取り組むことを職員間で共有している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の会員に全利用者が加入している。ホームの駐車場が秋祭りの屋台の休憩所となるよう青年団に働きかけて実現し、今年は利用者が喜んで、屋台やシデを触ったりして、地域の人と楽しい交流を行った。小学校から運動会の招待があり、利用者が参加している。盆踊りや地域の公民館でのふれあいコンサートにも招待されており、地域の方より「出演してみてもいい？」という声も上がっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価については、外部から違った角度からの意見を参考にし、改善に取り組んでいる。3ユニット間での交流ができていたので、皆で改善に向けて話し合い、取り組んでいる。今回の評価の記載は、昨年と違う職員が取り組んでおり、職員全員が関わられるよう配慮している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年4回開催している。運営推進会議のメンバーは地域の方に幅広く参加してもらっており、消防団は豊富町や近辺の太尾など2箇所にも声かけして構成している。地域包括支援センターへは声かけをしているが、市役所にはまだ働きかけをしていない。</p>		<p>運営推進会議は、概ね2ヵ月に1回以上開催することと定められており、回数を重ねることでより外部の意見を取り入れ、サービスの質の向上につなげていくことが望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員は参加しているが、市担当課職員には働きかけをしていない。</p>		<p>次の運営推進会議に市職員に来ていただけるよう取り組む前向きな姿勢があるので、その実現に期待したい。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面接時や毎月1回担当の職員が、個人の状況とケアの方針について報告している。また、行事がある時は家族に参加の案内をしている。金銭出納帳は、家族に目を通してもらいサインをもらっている。グループホーム全体の状況については、広報委員会が季刊誌「花だより」を作成し、送付している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情があった場合、速やかに話し合いを持ち対応しているが、家族会の開催は年1回であり、また意見も十分に出されていないことから、ユニットごとの家族会を計画している。</p>		<p>家族会をユニットごとで開催することにより、苦情や相談が言い出しやすい雰囲気を作り出し、また開催回数も増やせるメリットがあるので、今後の実現に期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>マンネリ化しないように、同一ホーム内で担当者の異動を行っている。3ユニットでミーティングを行い、常日頃から利用者の状況を把握している。利用者もユニット交流としてレクリエーションなどを通じた日常生活をおくっており、全職員と馴染みの関係にある。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1度の内部研修に地域包括支援センター職員や介護支援専門員、地域の消防団員など外部講師を依頼している。外部研修は職員の参加希望が多く、外部研修に参加人数の制限がある時は交代で参加している。費用は、事業所負担であり、職員は積極的な研修意欲が見受けられる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者から見学の希望があり、それがきっかけで交流が始まり、実習生を受け入れたり、他の同業者への研修も実施している。姫路市のグループホームの集会にも参加し、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学は主に家族の方が来られるので職員が説明している。本人も来られた時は、ユニットの雰囲気を味わっていただけるように、利用者からお茶のサービスを受け、話し合いを持っている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常の生活の話の中から、昔の慣わしなどを聞いている。干し柿の作り方、竹の子の湯がき方、また男性の職員はお米の研ぎ方などを教えてもらっている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活の会話や行動を観察して、本人本位になるよう努めている。今年度は特に理念に基づいて、その人の思いを読み取ることを意識し、「本人にまず聞く」ことを大切にしている。思いや意向の把握が困難な利用者については、家族からも聞き取り、意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月1回カンファレンス会議を開催し、介護計画に反映している。毎日の申し送りも介護計画に取り入れており、本人や家族の意見も踏まえて介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月1回ユニットごとで利用者一人ひとりについて介護計画の話し合いを行っている。週1回理事長でもある医者の往診、訪問看護の連絡票などをもとにして、介護計画の見直しを行っている。</p>		<p>センター方式を取り入れたことについての勉強会が年2回予定されているが、仕事の都合で参加できていない職員もいる。そのため、より現実的な介護計画の見直しを行うために、今後は全職員が参加して、センター方式について視点の統一を図る予定があるので、その実現に期待したい。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>デイサービスの利用者とともに音楽療法を受けたり、行事もお互い交流ができています。法人がクリニックであるので、居宅療養の訪問看護も週1回あり、血液検査や介護、看護の指導、勉強会が持たれている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が医療法人で、かかりつけ医でもあり、週1回の往診で利用者の状態の把握がされており、職員も日々様子をFAXや電話で連絡を取っている。他、医療受診の場合は、家族や職員が付き添い受診している。個々の医療受診リストを作成しており、利用者の病歴が一目瞭然で分かるよう工夫している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に終末期のあり方について方針を説明している。重度化や終末期の状況に対する時は、主治医や本人、家族と相談し対応している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりへの声かけには十分配慮し、知り得た情報の守秘義務については誓約している。個人のケース記録やファイルについては、ユニットカウンター内の奥の部屋や事務所に保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の立場に立って介護を実践するため、日常の会話の中から利用者の意向を聞き出すことに力点を置いている。外へ行きたい時は行ってもらい、職員は後について見守りをしている。皆が同じ生活をするのではなく、自由に行動していただけるよう職員間で話し合っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
	22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>			
	23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴については、利用者の希望や状態に応じて、いつでも入浴できる体制を取っている。しかし、重度の利用者に人手が必要なので、毎日利用者全員は入浴できていない。利用者の入浴については、入浴チェック表で記録している。</p>		<p>入浴については、毎日入浴したいという利用者の希望に添えるような体制づくりが望まれる。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
	24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常生活では掃除、洗濯物干し・取り入れ等自然に役割が決まっており、それぞれの役割について利用者同士認識している。楽しみごととして、それぞれ好きなレクリエーションがあり、読書、漢字の学習、ぬりえ、編み物などの作品を作り、各ユニット・各居室に飾っている。年1回、10日間程作品展も行っている。また、利用者全体のレクリエーションとして、風船バレー、カラオケや外部からの猿まわしなどを楽しんでいる。</p>		
	25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>グループホームの周りは田畑に囲まれており、交通量も少なく散歩しやすい環境にある。散歩コースを色々作り、各利用者の歩行能力や気分にあわせ、天候の良い日に散歩を楽しんでいる。買い物は希望者だけで行い、行けないが利用者からの要望がある時は職員が買ってきたり、家族に協力を求めたりしている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援						
	26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間以外は鍵をかけていない。日中はドアが開くと鈴の音が鳴るようにしているが、生活の支障にならない柔らかい音色である。夜は防犯のため、ユニット毎にドアに鍵をかけている。エレベーターも職員の見守りによって、利用者が自由に使用できる状態にある。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の避難訓練は毎月1回実施し、防災訓練委員会により、勉強会が行われている。日中の訓練はできており、夜間については火災を想定して訓練を行っているが、1ユニットに1人の職員数であるため、不安がある。地域の消防団、運営推進委員や地域住民の方にも協力要請をしている。</p>		<p>昼間の避難訓練以上に、夜は見通しが悪く、利用者も不穏な状態になるので、職員間の統一した手順の強化と共に、協力的な消防団や警察、地域の住民との連携を一層図られることを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者ごとの食事表を作成し、食事の摂取量、食事の形態を記録している。必要な方に対しては、水分量のチェックも行っている。体重の増減をチェックすることにより、栄養の状態も把握するようにしている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは明るく、カーテンで採光を調節している。季節の花が飾られており、一層雰囲気や和らげている。日当たりの良い所に、鉢植えが置かれ、利用者には鉢植えの好みがあり、誰々の鉢植えと名づけて親しまれている。利用者は居室より、リビングでのお喋りを楽しみにしており、自然に集まりができている。浴室やトイレはゆったりしており、落ち着いた生活ができる環境にある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は個性があり、おしゃれな方は洋服が所狭しと掛けられていたり、携帯電話が使われていたり、テレビや位牌を置かれている。家族の写真や作品を飾り、居室の入り口には花をアレンジした額に本人の写真や名前を入れたりして、ユニット毎に工夫している。ベッドは事業所で設置しており、サイズは幅広くゆったりしている。ベッドが嫌いな方には、床でも寝られるように配慮している。</p>		

 は、重点項目。